

豊中市と阪急阪神ホールディングス株式会社との 包括連携協定



令和4年（2022年）2月22日



私たちは、未来へつなぐ
「地域環境づくり」と「次世代の育成」に
貢献します。



阪急阪神ホールディングス株式会社

阪急阪神ホールディングス株式会社



中核6社が7つのコア事業を推進する企業グループ

連結売上高：5,689億円（2021年3月期）

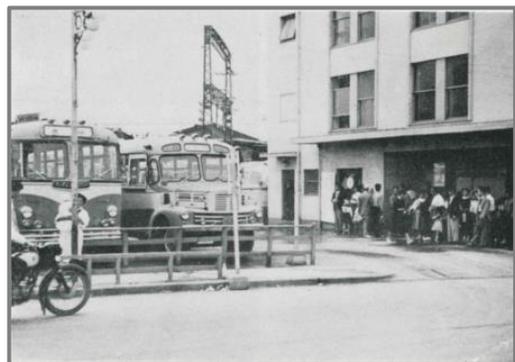
連結従業員数：23,192人（同上）

グループ会社数：106社5団体（同上）

創立：1907年10月

豊中市 × 阪急阪神ホールディングスの100年

- 鉄道やバスといった都市交通事業をはじめ、住宅地の開発、娯楽施設の整備等、豊中市で地域に根差した事業を幅広く展開。



(上) 阪急バス豊中営業所 (1957年頃)



(下) 岡町駅付近 (1910年)



住宅地開発 (1914年頃)



(前戦の手選學中兩取島島廣) 合試の初最合大

全国高校野球選手権大会が開催された
豊中運動場 (1913年・1915年)

豊中市 × 阪急阪神ホールディングスの100年

■ 時代の変遷と共に、駅の高架化や商業施設の運営等、まちの賑わい創出や安全なまちづくりに関する取り組みも深化。

今後も幅広い分野で協働しながら、魅力的な地域社会を実現していく。

1968年



1990年



現在



駅舎高架化に伴い変貌する豊中駅周辺



ホームドアが整備された駅
上：緑地公園駅 下：千里中央駅（北大阪急行電鉄）

包括連携協定の目的

市と阪急阪神ホールディングスが
それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して
まちづくりや駅周辺環境の整備、都市の魅力向上など
SDGsがめざす持続可能な社会の実現に向けて
相互に協力することを目的とする

1. まちづくりや駅周辺環境の整備に関する事
2. 安全・安心な地域環境づくりに関する事
3. 未来を担う人材の育成に関する事
4. 都市の魅力向上や情報発信に関する事
5. その他、双方において、相互の連携が必要と認める事



1. まちづくりや駅周辺環境の整備に関すること

■ 魅力あふれる住み続けたいまちづくり

- ・ 魅力あふれる住み続けたいまちに向けた都市ブランディングの検討
- ・ 千里中央エリアなどのまちづくり
- ・ 服部天神駅や神崎川駅周辺など駅周辺のまちづくり

■ 交通利便性向上に向けた検討

- ・ デマンド型乗合タクシーや阪急バス豊中東西線 など
多様なライフスタイルを支える公共交通の充実
- ・ MaaS（マース）や次世代モビリティの活用に向けた検討

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



2. 安全・安心な地域環境づくりに関すること

■ ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み

- ・ 駅舎などにおける再生可能エネルギー活用の推進 など

■ 災害発生時の連携・協力体制の強化

- ・ 災害時要支援者の輸送や緊急避難場所の確保に関する検討 など

■ 情報通信技術の活用推進

- ・ ビッグデータ活用に関する検討 など

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



3. 未来を担う人材の育成に関すること

■ 小・中学生を対象とした教育プログラムの実施

- ・ SDGsなどをテーマとした出前授業 など

■ 幅広い世代を対象とした生涯学習プログラムの実施

- ・ 市民セミナー等の開催 など

■ 人材の育成に関する協力

- ・ 人材交流や人材育成にかかる研修等の実施 など

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



4. 都市の魅力向上や情報発信に関すること

■ 都市の魅力向上にかかる共催事業の実施

- ・ 沿線のにぎわいを創出するイベント等の実施 など

■ 多世代がいきいきと集い住み続けたくなるまちづくり

- ・ 子育て世代や高齢者向けプログラムの検討・実施 など

■ SDGsの推進に向けた相互協力

- ・ SDGs トレイン等を活用した周知啓発 など



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

